

# 雨の多い季節です 風水害に備えましょう

【問い合わせ先】危機管理課危機管理係 ☎42 - 9111 内線 1411)

近年、全国各地で大雨による浸水害や土砂災害が頻発しています。いつ起こるか分からない風水害から命を守るためには、一人一人の備えが大切です。これから迎える大雨・台風シーズンに向けて、5月29日☎から新しくなった防災気象情報の見方や、家庭でできる備えを確認しましょう。

## 防災気象情報が分かりやすくなりました

防災気象情報は、災害の多い日本で生きていくためには、大切な情報です。しかし、これまでの防災気象情報では、次のような課題がありました。

### これまでの防災気象情報の課題

これまでの防災気象情報では、大雨・洪水・土砂災害・高潮など、災害によって情報の名前が統一されておらず、「今の情報は警戒レベルいくつなのか」「どのような行動をとれば良いのか」が直感的に分かりにくい状況でした。また、災害によって警戒レベル4相当に該当する情報がないもの（洪水・大雨浸水）があったり、同じ警戒が異なる対象災害を兼ねたりする（大雨警戒が土砂災害と浸水害を兼ねるなど）などの課題がありました。



### 上記の課題を解決した防災気象情報が5月29日☎から運用が開始されています

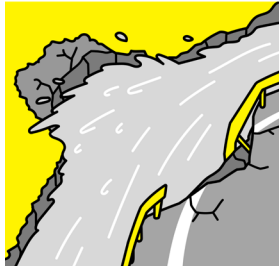
新しい防災気象情報では、どのレベルの状況でどの避難行動をとるべきか分かりやすくなりました。警戒や注意報の情報名にレベルの数字が付与され、「レベル3大雨警戒」など、取るべき避難行動が直感的に分かるようになっています。また、警戒レベル4相当の情報として危険警戒の運用が始まりました。これまでの防災気象情報から大きく変わった新しい防災気象情報を理解し、正しい行動につなげましょう。

### 新しい防災気象情報と警戒レベル

	気象台から発表			
	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水
<b>警戒レベル5相当</b>	レベル5 氾濫特別警戒	レベル5 大雨特別警戒	レベル5 土砂災害特別警戒	レベル5 高潮特別警戒

### 警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難しましょう

<b>警戒レベル4相当</b>	レベル4 氾濫危険警戒	レベル4 大雨危険警戒	レベル4 土砂災害危険警戒	レベル4 高潮危険警戒
<b>警戒レベル3相当</b>	レベル3 氾濫警戒	レベル3 大雨警戒	レベル3 土砂災害警戒	レベル3 高潮警戒
<b>警戒レベル2</b>	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
<b>警戒レベル1</b>	早期注意情報			

	レベルごとの対応
<p><b>警戒レベル5相当</b> 特別警報（河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮）</p>	<p>何らかの災害が発生または発災の危険が迫っている状況です。指定避難所やそれ以外の安全な場所へ避難することが、かえって危険になる可能性があります。<u>いち早く命を守る行動を取りましょう。</u>自宅の上の階や、崖から離れた部屋に移動するなど、その場で取ることができる身の安全を確保するための行動を取るようにしましょう。</p> 



警戒レベル **4** までに危険な場所から必ず避難しましょう

<p><b>警戒レベル4相当</b> 危険警報（河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮）</p>	<p>市から避難情報（避難指示）が発令されたら、<u>危険な場所から全員避難しましょう。</u>指定避難所などの安全な場所への避難が基本ですが、家が浸水していないなどの場合、ハザードマップなどで身の安全を確認したうえで、屋内に留まることも可能です。市から避難指示が発令されていない場合でも、今いる場所に危険を感じる場合は、安全な場所へ避難してください。</p> 
<p><b>警戒レベル3相当</b> 警報（河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮）</p>	<p>市から避難情報（高齢者等避難）が発令されたら、<u>高齢者、障がいのある人や乳幼児とその家族など、避難に時間を要する人や避難に支援が必要な人は危険な場所から避難しましょう。</u>それ以外の人も普段の行動を見合わせたり、気象庁から発表されるレベル3警報や、キキクルなどを確認して避難の準備をしたりして、自ら避難を判断してください。</p> 
<p><b>警戒レベル2</b> 注意報（河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮）</p>	<p>避難に備え、ハザードマップなどを確認して自宅などの災害リスク、避難先や避難経路など、<u>避難行動を再確認しましょう。</u>避難時に持参する荷物を平時に準備していない場合は、避難情報（高齢者等避難・避難指示）が発令されるまでに準備を完了させましょう。</p> 
<p><b>警戒レベル1</b> 早期注意情報</p>	<p>テレビやラジオなどで防災気象情報などの最新情報に注意するなど、防災意識を高めましょう。自主的な避難先（親戚・知人宅や宿泊施設など）の調整や、屋内で安全確保をする場合には備蓄の補充など、時間を要する準備は、連絡を取ることができる人達で自主的に進めておきましょう。</p> 

# 防災気象情報の確認方法を知っておこう

大雨や台風のときは、防災気象情報や避難情報を早めに確認することが大切です。テレビや防災行政無線だけでなく、スマートフォン・固定電話・FAXなど、情報を得る手段は増えています。いざという時にすぐ確認できるよう準備しましょう。

## 「キキクル」の使い方を学ぼう

レベル3警報・レベル4危険警報などが発表されたときに、「キキクル」を使い、実際どこに危険が迫っているのかを確認できます。

## 「キキクル」画面イメージ



出典：地理院タイル(加工して利用)など、気象庁ホームページ(一部加工して利用)

### ①キキクルにアクセス

気象庁ホームページから「キキクル」を開く。上記画面が表示されます。



詳細はこちら▲

### ②見たい情報をクリック

「土砂災害」(土砂キキクル)、「浸水害」(浸水キキクル)、「洪水災害」(洪水キキクル)、「浸水害」と「洪水災害」を重ね合わせた大雨キキクルを選択できます。

### ③地図で避難経路を確認

ハザードマップを確認しながら、危険な場所や安全な場所を把握しましょう。

## キキクルの色別危険度

高	災害切迫(警戒レベル5相当)
↑	
危険度	危険(警戒レベル4相当)
↓	
警戒	警戒(警戒レベル3相当)
注意	注意(警戒レベル2)
低	今後の情報に留意

## 桜井市からのお知らせ・情報環境

### 桜井市安心安全システム(メール・電話・FAXによる情報配信)

地震情報・気象警報・避難情報などの防災情報や、市からの緊急のお知らせなどをメールで配信するサービスです。

#### ▷登録方法

- ①下記二次元コードにアクセス
- ②空メール(件名・本文不要)を送信
- ③届いたメールに記載された登録用URLからガイドに従って登録

視覚障がいのある人や携帯電話を持っていない人向けに、固定電話やFAXで情報を受け取ることができるサービスがあります。サービスを希望する人は下記へ。



空メール送信先▲

**申・問** 危機管理課危機管理係 (☎42 - 9111 内線 1411)

### 桜井市公式情報発信ツール(インターネット環境)



市公式 LINE ▲



市公式 X ▲



市公式  
ホームページ▲



Yahoo!  
防災速報▲

## 調べよう災害関連ツール

災害用伝言ダイヤル(171)や災害用伝言板(web171)など、知っておくと災害発生時に役立つツールはたくさんあります。事前に知っておくことで、災害発生時の冷静な行動につながります。



災害用伝言ダイヤル▲



災害用伝言版▲

## 関西停電情報アプリ

登録地域を設定すると、その地域で停電が発生した場合に通知が届きます。

**問** 停電時関西電力送配電お問い合わせ先\*

(☎0800 - 777 - 3081)

※通話料無料

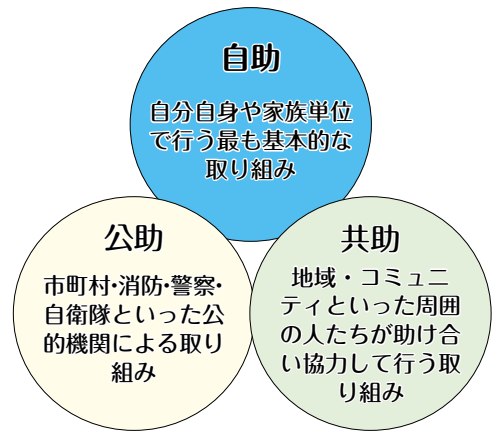


関西停電  
情報アプリ▲

災害が発生した時は、「自助・共助・公助」の担い手がそれぞれ役割を理解し、連携することが大切です。

しかし、全国で発生した過去の大規模な自然災害を振り返ると、行政が被災するなど、救助・援助する側の人手が足りず、「公助」のみでは災害対応が追いつかない事例がたびたび見受けられます。

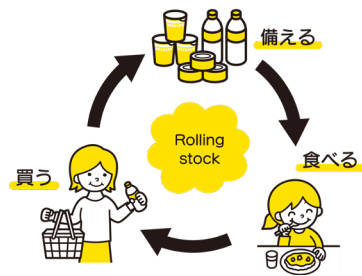
そのため、私たち一人一人が「自らの命は自らが守る」という意識のもと「自助」の力を高めるとともに、地域やコミュニティといった周囲の人たちと日ごろから助け合える関係を築いておき、「共助」の力を高めておくことも重要です。



## 災害から身を守る力を高めましょう（自助）

桜井市では、災害に備えて物資の確保や情報伝達の仕組みづくりなどを進めています。しかし、大規模な災害発生時は情報の収集や支援に時間がかかることがあります。桜井市の備えに加えて、私たち一人一人が日ごろから備えることが大切です。

普段から口にしていく飲み物や食べ物を少し多めに買い置きして、古いものから消費していくローリングストックを実践しましょう。



## 備蓄品参考例

- 水（飲料水・調理用水）1人あたり1日3L 7日分
- 食料（乾麺・レトルトご飯・食品・缶詰など）7日分
- 携帯トイレ 1人あたり1日5回 7日分
- その他（カセットコンロ・ガスボンベ・ラップ・割り箸・懐中電灯・電池・ウェットティッシュ・ティッシュペーパー・トイレトペーパー・モバイルバッテリーなど）

## 非常用持ち出し袋参考例

- 水・食料3日分、衣類、下着、懐中電灯、モバイルバッテリー、救急用品、使い捨てカイロ、ブランケット、歯ブラシ、歯磨き粉、マスク、手指消毒用アルコール、ウェットティッシュなど

## 周りの人と助け合うことが大切です（共助）

災害発生時は公的機関の支援（公助）が届かず、自分の力（自助）では問題に対処できない場合があります。しかし、周りの人と協力することで、問題に対処できることがあります。普段の生活から、近所の人と関係性を築いておきましょう。



## 災害用設備を充実させています（公助）

市民の皆さんの安全を守るため、桜井市では避難生活で必要となる物品を備えています。昨年度は、折りたたみベッドや間仕切り、災害時の衛生環境を確保するためのトイレカーなどを整備しました。



さまざまなツールを使って  
自分の身を守りましょう



**一人一人の準備が大切です**  
新たな防災気象情報は、災害の危険度や取るべき行動がより分かりやすくなっています。しかし、防災気象情報はあくまで「判断の材料」であり、最終的に命を守る行動を取るの自分自身です。自ら情報を確認し、早めに行動する「自助」の意識が欠かせません。  
日ごろから、ハザードマップなどを確認し、自宅や職場、よく行く場所の危険性を把握しておくことが大切です。

防災気象情報を「知る」だけでなく、「どう行動するか」まで決めておくことが、自らの命と大切な人を守る備えにつながります。